

生活直結の施策に投入

1億円超の補正予算は健康・福祉に主眼

引き続き利用料を助成

「かんぽの宿寄居」日帰り入浴

追加補正 104万8000円

町では、高齢者並びに障害者の健康増進、閉じこもりの予防や福祉の向上を図ることを目的に、平成19年度に「かんぽの宿寄居」金山温泉の利用料金の一部を助成する事業を開始しました。過去3年間で利用登録者も増えており、引き続き平成22年度も日帰り入浴利用料助成事業を実施していきます。当初予算では1万800回分を予算計上していましたが、利用者が多いため、2620回分を追加補正するものです。なお、利用者の公平を図る観点から、利用回数は年間36回が上限となります。

これまでの利用登録者と利用回数

	利用登録者	利用回数	助成金額
平成19年度	1590名	8163回	326万5200円
平成20年度	2035名	10520回	420万8000円
平成21年度	2381名	14061回	562万4400円

14日間にわたって開催された12月定例会では、一般会計補正予算(国保会計への繰出金、保育所入所児童委託料、新型インフルエンザ・子宮頸がん予防ワクチン接種委託料など)をはじめとした、議案11件と請願1件の審議・審査が行われました。(審議結果は5ページをご覧ください)



厳しい社会情勢を反映

保育所入所児童委託料

追加補正 4005万9000円



町内私立保育園と町外公私立保育所に委託している児童の委託料で、0歳児が当初と比較して延べ155人増加したほか、3歳・4歳児も増加したことによる追加です。0歳児が増加した背景は、以前は2歳・3歳から保育所に預ける家庭が多かったが、現在の経済状況の悪化により、0歳児の母親が働きに出る家庭が増えたためと考えられます。

流行を見越し、予防接種の推進を

新型インフルエンザ対策

追加補正 840万3000円

平成21年度では、保育所に空気清浄器、小・中学校には空気清浄器と非接触式体温計を購入整備したほか、学校はじめ関係機関へ感染状況を提供し、拡大防止に努めました。高齢者については、65歳以上を対象にワクチン接種の実施と、町単独で接種費用の負担軽減事業を行い、感染の拡大防止に努めました。今年度の対象は、65歳以上の5000人と、今回65歳未満の方で町民税非課税世帯の2263人(13歳未満の方は2回接種)を追加した、合わせて7263人です。65歳以上の方は、季節型と新型インフルエンザの両方を兼ねたワクチンの接種となります。流行を見越し、インフルエンザ予防接種事業として追加するものです。



希望者増で243名分追加

子宮頸がん予防ワクチン

追加補正 877万3000円



町では子宮頸がん予防ワクチン接種事業に取り組み、接種費用の全額補助を実施しました。当初予算では、中学校の女子生徒110名分を予算計上しましたが、接種希望者の増加により、243名分の接種費用を追加補正するものです。

子宮頸がんは予防ワクチンの接種と検診により、ほぼ100%予防できます。

保護者の声
子宮頸がんは、予防できる唯一のがんだということを初めて知りました。接種費用が高額なので、全額補助していただけて助かりました。(H・S)

全額補助に早くから取り組んでいただき、近隣市町村からうらやましがられました。学校での説明会をもう少し早く実施してほしいです。(K・S)